

福島県相馬郡小高町飯崎方言の立ち上げ詞

小林 初夫

I.はじめに

1. 調査対象地： 小高町は、福島県相馬郡の最南端に位置し、阿武隈山地と太平洋との間に広がる人口 13,549 人、戸数 3,818 戸（2005.11.1 現在）の町である。飯崎は町の中心部より西に位置する農業地域である。
2. 調査年月日：2005 年 10 月 5 日（水）午後 2 時から 5 時半まで
3. 話者：小林和子（昭和 15 年 1 月 23 日生）
4. 調査者・調査場所：小林初夫・話者宅
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
6. その他：無アクセント地域のため、アクセント記号は付けない。話者のコメントはく
>内に記した。

II.調査結果

1. 自己の自発的な行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」
 - (1) どっこいしょ。一休みしよう。
○ヨッコラシヨ。ドレ シトヤスミ シッペ。よっこらしよ。どれ、一休みしよう。
 - (2) どうれ。出かけることにしよう。
○ドーレ。デガゲッカ。どうれ。出かけるか。
 - (3) よいこらしよ。とうとう山の天辺に着いた。
○ヨッコイシヨ。ヤット ヤマノ テッペンサ ツイダ。よっこいしょ。やっとう山の天辺に着いた。
 - (4) しまった。もうちょつとで落ちるところだった！
○アブナガッタ。イマチントデ オジツゴダッタ。危なかった。今少しで落ちるところだった。
 - (5) くわばらくわばら。恐ろしかった！
○アー、オッカネガッタ。ああ、おっかなかった。
 - (6) しめた！今度の魚は大きいぞ。
○ヨシ。コンドノ サガナワ ズンネードー。
 - (7) ままよ。飛び越えるしかない。
○ヨーシ。ノッコエルシカネー。ようし。乗り越えるしかない。<飛び越えるをハネコエルとも言う。>
 - (8) なにくそ！負けてなるものか。
○ナニクソ、マゲデライッカ。なにくそ、負けてられるか。

(9) しめしめ！誰も気がついていない。

○ダレモ キーツカネナー。誰も気づかないな。くしめしめは言わない。>

(10) ちえっ。つまらないなあ。

○フーン。オモシヤグネナー。ふん。おもしろくないなあ。

(11) ちくしょう！仕返しをしてやる。

○コンチキショー、ヤンゲーシ シテヤル。こんちくしょう。やり返ししてやる。

(12) くそっ！覚えている！

○クソー、オボエデヤガレ。くそっ、覚えていやがれ。

(13) おやおや、いったいどうしたの。

○アイヤー、ナニシタダー。あれや、何したんだ。

(14) えへん、えへん。吾輩は村一番の力持ちじゃ。

○オレワ ムライジバンノ チカラモジダ。俺は村一番の力持ちだ。くえへん、えへんは言わない。>

(15) はてな、ここはどこだろう？

○ハーデ、コゴワ ドゴダベ。はて、ここはどこだろう。

2.他者の発話に呼応して、応答の発話を立ち上げる「立ち上げ詞」

(16) はい、承知いたしました。

○ハイ、ワガッタ。はい、わかった。

(17) はい。宜しゅうございます。

○ハイ。イーデス。はい。いいです。

(18) ええ、ここに居ます。

○ンー、コゴサイダ。うん、ここにいた。

(19) んだ。私の傘です。

○ンダ。オレノカサダ。そうだ。おれの傘だ。

(20) さよう、さよう。あなたの言う通り。

○ンダ、ンダ。ワーノ ユートーリダ。そうだ、そうだ。あなたの言うとおりで。

(21) ほいきた。おやすいご用です。

○ヨーシキタ。カンタンナモンダ。よしきた。簡単なものだ。

(22) よっしゃ。やりましょう。

○ヨーシ。ヤッペ。よし。やります。

(23) よしきた。お引き受けいたしましょう。

○ヨーシ。ヒギウゲッペ。よし。引き受けましょう。くヒギウゲダとも言う。>

(24) がってんだ。一緒に行きましょう。

○ヨーシ ワガッタ。イッショニ ングベ。よし、わかった。いっしょに行こう。

- (25) かつぱのへだ。簡単だ。
○ジョーサネ。簡単だ。<ジョーサネは造作無い。>
- (26) いえいえ、とんでもございません。
○イヤイヤ、トンデモネー。いやいや、とんでもない。
- (27) なんの、たいしたことではございません。
○ナンノ、タイシタゴドネー。なんの、たいしたことない。
- (28) なあに、擦り傷（すりきず）ぐらい、すぐ治るさ。
○ナーニ、スリムイダノグレ、スグナオツカラ。なあに、すりむいたのぐらい、すぐ治るから。
- (29) なにさ、いつも調子の良いことばかり言って！
○ナンド、イツツモ チョーシイーゴドバツカリユツテ。なんだ、いつも調子いいことばかり言って。
- (30) いやはや、とんだ目に遭（あ）いました。
○イヤイヤ、トンデモネーメニアツタ。いやいや、とんでもない目にあつた。
- (31) へん、勝手にしやがれ。
○フン、カッテニシロ。ふん、勝手にしろ。
- (32) なめるんじゃねえよ。こいつ！
○バガニシンナ。コイツ。ばかにするな。こいつ。
- (33) 冗談じゃない。口から出任せを言って！
○ジョーダンデネー。クチガラデマカセユツテ。冗談でない。口から出任せ言って。
- (34) だまらっしゃい。出鱈目（でたらめ）ばかり言って！
○ダマツテロ。デダラメバツカシユツテ。だまれ。でたらめばかり言って。
- (35) そうは間屋がおろさねえ。黙っていらねえ。
○ホーワトンヤガオロサネー。ダマツテランニエ。そうは間屋がおろさない。黙ってられない。
- (36) うそもへチマもありやしねえ。我慢（がまん）できねえ。
○ウソモへチマモアツタモンデネー。ガマンデギネー。うそもへチマもあつたものじゃない。がまんできない。
- (37) 寝言は寝ていえ。このやろう。
○ネゴドワ ネデユエ。コネロー。寝言は寝て言え。このやろう。
- (38) あたりきしやりきのけつあな。当たり前だ！
○アダリキシヤリキコメノメシ。アダリメダ。あたりきしやりき米の飯。当たり前だ。
- (39) きみようきてれつだ。それは変だ。
○ホイヅワヘンダ。それは変だ。きみようきてれつだは言わない。ヘンダをオガシネとも言う。>

(40) ほほう、それは親孝行なお子さんですね。

○ホー、ホイヅワ オヤコーコーナ コドモダナー。ほう、そいつは親孝行な子供だなあ。

(41) まいったまいった。しかたがない。

○マイッタマイッタ。シショネナー。まいったまいった。しかたないなあ。

3.他者との関係を立ち上げるために、他者との言語情報を結節する「立ち上げ詞」

(42) もしもし、すみません。役場はどこにありますか。

○アノー、スマネゲンチョモ、ヤグバワ ドゴサアンダベナー。あのう、すみませんけれども、役場はどこにあるんでしょうか。

(43) のうのう、旅の人。お立ち寄り下さい。

○アノー、タビノヒト。マーツテ ンガネガ。あのう、旅の人。回っていかないか。

(44) ほら、ご覧なさい。向こうに公園があります。

○ホラ、ミデミロ。モゴーサ コーエンアッカラ。ほら、見てみる。向こうに公園あるから。

(45) やいやい。こんなに朝早くからどこへ行くんだ？

○コレコレ。コンナアサハヤッカラ ドゴサングンダ。これこれ、こんな朝早くからどこへ行くんだ。

(46) よう、兄弟。これから何をするつもりだい？

○ヨー。イマッカラ ナニシンダ。よう。今から何するんだ。＜兄弟は言わない。＞

(47) いざ、さらば。

○ンジャー。それじゃな。

(48) ささ、ご遠慮無く、召し上がって下さい。

○サーサー、エンリョシネデ、アガッセ。さあさあ、遠慮しないで召し上がれ。

(49) さて、そろそろ一服しませんか。

○ンジャ、ソロソロイップグシッカー。それじゃ、そろそろ一服しようか。

(50) これこれ、ちょっと静かにしなさい。

○コレコレ、チントオドナシグシロ。これこれ、ちょっとおとなしくしなさい。

(51) おい、こら。万引きをしてはいけない。

○オー、コレ。ヌスンデワ ダメダド。おい、これ。盗んではだめだぞ。

(52) おどりゃあ。いい加減にしないか！

○イーカゲンニシネガー。いい加減にしないか。＜おどりゃあは言わない。＞

(53) おのれ、裏切りやがったな。

○オメー、ヤクソグヤブッタナー。おまえ、約束破ったな。

(54) どっこい。その手には乗らない。

- ホノテニワノンネドー。その手には乗らないぞ。<どっこいは言わない。>
- (55) どうだ、参ったか？
○ドーダ、マイッタペー。どうだ、参ったか。
- (56) せいの、よいしょ！
○サーノ、ヨイショ。せいの、よいしょ。
- (57) ようい、どん！
○ヨーイ、ドン。ようい、どん。
- (58) いっせいの、で！
○サーノ。せいの。
- (59) よいしょ、よいしょ、もう一息だ！
○ヨーイショ、ヨーイショ、モーチントダ。よいしょ、よいしょ、もう少しだ。<イマチントダとも言う。>
- (60) うんとこしょ、どっこいしょ。もう少しだ。
○サーノ、サーノ。モーチントダ。せえの、せえの。もう少しだ。
- (61) わっしょい、わっしょい、祭りだ、わっしょい。
○ワッショイ、ワッショイ、マヅリダ、ワッショイ。わっしょい、わっしょい、祭りだ、わっしょい。
- (62) はじめはぐう、じゃんけん、ぼん！あいこでしょ。
○ジャンケン、シー。アイコデショ。じゃんけん、しい。あいこでしょ。<はじめはぐうは言わない。>
- (63) きをつけえ、まえへならえ、なおれ。
○キョーツケ、マエナライ、ナオレ。きをつけ、まえならい、なおれ。
- (64) きりつ、れい、ちゃくせき。
○キリツ、レー、チャクセーキ。きりつ、れい、ちゃくせき。
- (65) ぼんざい、ぼんざい。やった、やった！
○バンザーイ、バンザーイ。ヤッター、ヤッター。ぼんざい、ぼんざい。やった、やった。
- (66) えいえいおう。頑張るぞ。
○エイエイオー。ガンバッペー。えいえいおう。がんばろう。
- (67) 中村君の誕生日を祝して、かんぱい。おめでとう。
○ナガムラクンノ タンジョー、オメデトー、カンパーイ。中村君の誕生日おめでとう、かんぱい。
- (68) やっほう、やっほう。
○ヤーッホー、ヤーッホー。やっほう、やっほう。
- (69) ふれえ、ふれえ、白組。

- フレー、フレー、シログミ。ふれえ、ふれえ、白組
- (70) おにはそと、ふくはうち。
- オニワソド、フグワウジー。おにはそと、ふくはうち。
- (71) べらぼうめ、とんでも無い子だ。
- コネロー、トンデモネー ワラシダ。このやろう、とんでもない子供だ。＜ワラシは男女とも。男はヤロー、女はガギという使い分けもあった。＞
- (72) それみたことか、わんぱく坊主。
- ホレミロ、コノヤロー。それみろ、このやろう。＜コノヤローはコネロとも言う＞
- (73) ざまあ、みろ。いい気味だ。
- ザマー、ミロ。オメンテー。ざまあ、みろ。いい気味だ。
- (74) ちくしょうめ、ひどいことを言いやがる。
- チキショー、トンデモネーゴドユ。ちくしょう、とんでもないことを言う。
- (75) このやろう。どうしてくれようか。
- コンチキショー。こんちくしょう。＜どうしてくれようかは言わない。＞
- (76) たわけ、ふざけた事を言うんじゃない。
- バガヤロー、カダッテンデネー。ばかやろう、ふざけたこと言うんじゃない。
- (77) ばかやろう、いい加減なことを言うな。
- バガヤロー、ヘデナシューナ。ばかやろう、いい加減なこと言うな。
- (78) あなかま、静かにしなさい。
- ヤガマシー、シツカニシロ。やかましい、静かにしろ。
- (79) しいっ、静かにして！
- シーツ、シズガニ。しいっ、静かに。
- (80) ちちんぷぶい、蛙、蛙、生き返れ。
- 特に言い方はない。
- (81) あっかんべい、鬼さん、こちら。
- アガメテー、オニサン、コッチダ。あっかんべえ、鬼さん、こっちだ。
- (82) あっばれ、お見事。立派です。
- イヤイヤ、タイシタモンダ。いやいや、たいしたものだ。
- (83) でかした、でかした。日本一。
- イヤイヤ、コレワ タイシタモンダ。いやいや、これはたいしたものだ。
- (84) しっけい！すみません。
- ボットナー。＜わざとやったのではないことを謝るときの言い方。＞
- (85) あばよ、達者でな。
- ンジャー、ゲンキデナー。それじゃな、元気でな。

(こばやし はつお 福島県相馬郡小高町立小高小学校)